

先生のおすすめ絵本

ねずみさんのおかいもの

〈作・絵〉多田 ヒロシ 〈出版社〉こぐま社



お母さんからお買い物をしたまれた8匹のねずみの子どもたちが、お買い物にでかけます。「がらがらごっとな がらがらごっとな」と、力を合わせて荷車を引いて、向かったお店は…くだもの屋さん、パン屋さん、お花屋さんにケーキ屋さん！店内はたくさんの果物、パン、お花などが細かく描かれています。「いらっしやいませ！なににしましょう」「メロンとバナナをください」「はい、かしこまりました。まいど、ありがとうございます」お店の人とやりとりをして、お金を払って上手にお買い物をするねずみさんたち。お母さんに頼まれた通りお買い物が出来たねずみさんたちは、お家に帰って赤ちゃんが生まれたお祝いのパーティーを始めます。最後にはねずみさんたちが大集合して、素敵な家族写真をパシャリ！この場面には「ねずみさんがいっぱい！」と子どもたちもびつくりでした。「このパンが好き！」「このお花がいいな！」と、一緒にお買い物を楽しめる楽しい一冊です！

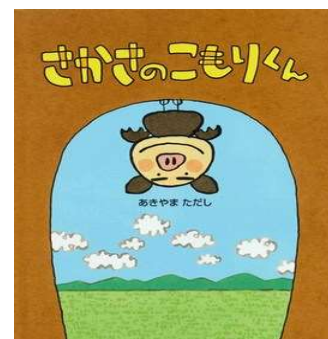
〈つばめ組 K先生〉

さかさのこもりくん

〈作・絵〉あきやまだし 〈出版社〉教育画劇

洞窟の奥に住んでいるこもりりの子ども、こもりくん。こもりくんはずっと逆さまの状態でも生きてきたから、話すことも全部逆さまです。「ねずみくん、ぼくとぜったいにあそばないでね！」本当は一緒に遊びたいこもりくん。ですが…ねずみくんに逆さま言葉は伝わりません。「うん。わかった。じゃ～ね～」と行ってしまいます。さて、その次に来たまくくんにも「きみとはぜったいにあそばないよ！」「だってきみ、からだがちいさいし、かおがしかくいからだいきらいなんだ」。さあ、こもりくんはお友達と遊べるのでしょうか。絵本のはじめは、逆さま言葉に混乱し「どういこうだ！」「なんでそんなこと言っちゃうんだろう、あ、反対なのか」と考えて考えて見ていたたんぼ組の子も達ですが、だんだん理解できてきて、「今は、本当は〇〇って言ったんだよね！」と納得した様子でした。読み終えたあとは、「おはようございます」「A先生大嫌い！」と逆さま言葉でいろいろな言葉を表現していました。言葉遊びの面白さが分かる一冊です。

〈たんぼ組 O先生〉



※紙面で紹介している絵本の表紙画像の掲載には、出版社の許諾をいただいております。

読み聞かせノートより

おじさんのかさ

〈作・絵〉佐野洋子 〈出版社〉講談社

おじさんは立派な傘を持っていましたが、雨が降ってもさすことはありません。かさが濡れるからです。ですが、雨の日に出会った子どもたちがきっかけとなりとうとう大事な傘を開きます。

少し長めの絵本でしたが、みんな静かに聞いてくれるところどころクスッと笑い声も起こりました。雨の日に「ポンポロン、ピッチャンチャン」という歌とともにお話を思い出してくると嬉しいです。



〈すみれ組 Wさん〉

このよでいちばんはやいのは

〈原作〉ロバート・フローマン 〈翻訳〉天野祐吉
〈絵〉あべ弘士 〈出版社〉福音館書店

運動会のリレーの練習に励む子どもたち。「どうしたら勝てるかな？」とみんなで話し合ったり、園庭を一日中ぐるぐるのかけまわっている様子。そんな子どもたちにぴったりなこのタイトル。ページをめくると次から次へと速いものが登場していきます。そして、「このよでいちばんはやいのは？」…。思わぬこたえに大人も深く考えさせられる一冊です。



〈ふじ組 Yさん〉

編集後記

11月でも暖かいと思っていたら、季節はあっという間に進み、今年ももう少しですね。秋まつりは古絵本回収のご協力を頂き、ありがとうございました。子ども達に少しでも喜んでいただけたら幸いです。来年も子ども達の笑顔と元気な声がたくさんあふれますように。素敵なクリスマス&お正月を…。

〈ふれいめん役員一同〉